

超高速硬化で効率向上とCO₂削減狙う 江戸川合成、紫外線硬化型塗料を新開発

江戸川合成は5月に紫外線硬化型塗料「e-UV Speeda」を発売した。中塗りとしても使用できるプライマーとともにシリーズで展開していく。

同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装

現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度

は高まっている。

現在同社では、「環境負荷低減」をテーマにした新製品の開発を積極的に推進しているが、紫外線硬化型塗料の上市は価値ある一歩と認識している。「同分野に精通する人材を開発プロジェクトの中核として登用し、自由な発想で推進してもらった。紫外線硬化型塗料は新規参入に近い状況で、基本的にゼロから始めた」(篠原幸治社長)と新製品開発の経緯を説明する。

製品開発からリリースまで、営業、技術、生産、総務でプロジェクトチームを編成。「まさに全部門が一丸となって進

めてきた。新しいことへの挑戦は、分からないことだらけで苦労も多いが、携わっている社員のモチベーションの高まりも感じている。今後は新しいマーケットにも挑戦していきたい」と篠原社長。攻めの姿勢で製品開発を進めていく方針。

同品は「e-UV Speeda ハード」「e-UV Speeda セミハード」「e-UV Speeda フレキシブル」のトップコート3種類にプライマーである「e-UV Primer for PP」「e-UV Primer for PET」の計5種類を揃えた。化粧品や自動車部品など幅広い製品へ提案していく。

「e-UV Speeda」の製品ラインナップ

「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。



「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。

「e-UV Speeda」の製品ラインナップ

「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。



「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。

「e-UV Speeda」の製品ラインナップ

「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。



「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。

「e-UV Speeda」の製品ラインナップ

「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。



「e-UV Speeda」は、2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている。同品は、60℃で1分、40～50℃でも2～5分という圧倒的な硬化速度を実現。また、硬化に高熱を必要としないため、熱で変質・劣化するプラスチックや紙などの感熱基材への塗装が可能。短時間で塗膜形成が可能のため、塗装現場での作業・生産効率の向上にも寄与できる。加えて、塗装から硬化までの工程をコンパクトにし、CO₂削減や省エネにも効果を発揮する。「物流費や燃料コストも上がっており、工程短縮や生産効率の向上でコストを下げたいという要望が多くなっている。2液常温乾燥型塗料から紫外線硬化型塗料に変更したいと既にサンプリングを依頼されるケースも出てきている」と注目度は高まっている。